



早めに気づいて防ごう 高齢者虐待

気づかないうちに高齢者虐待になっているかも…?

虐待をしている人の半数以上、虐待されている人の約3割は、虐待の自覚がないといわれています。高齢者の介護は想像以上に大変です。日々の介護に心身ともに疲れ、一人で抱え込んでしまうと高齢者虐待につながる可能性があります。

🔒 高齢者虐待を疑うサイン 🔒

- ・家の中から家族の怒鳴り声や高齢者の悲鳴が聞こえる
- ・身体に不自然な傷やあざがあり、理由を聞いてもはっきり話してくれない
- ・最近身だしなみや服の汚れが気になるようになった
- ・年金等のお金を自由に使わせてもらえない
- ・徘徊しないように、部屋に鍵をかけられている
- ・部屋の中に衣類や食べ残し等が散乱し、不衛生な環境で暮らしている



高齢者虐待を防ぐポイントは、早期発見と介護負担の軽減です

まずは、地域での温かい見守り・声掛けから

高齢者虐待を防ぐには、近隣住民等の見守りや声掛けにより、高齢者と介護者を孤立させないことが大切です。

虐待の疑いがあるときは迷わず相談してください

虐待を早期に発見し、適切な支援につなげることで深刻な状態になることを防ぐことができます。

地域包括支援センターでは、虐待だけでなく介護、福祉、医療等、高齢者の様々な相談をお受けしています。

虐待かどうかをご自身で判断する必要はありません。また、相談された方の情報が外部に漏れることはありませんので、安心して相談してください。

※施設入所者の虐待に関しても同様にご相談ください。

